



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年8月12日

上場会社名 中部水産株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 8145 URL <https://www.nagoya-chusui.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 脇坂 剛  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 臼井 敬人 TEL 052-683-3000  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の業績 (2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	8,430	2.8	33	△64.6	96	△34.3	73	△35.6
2022年3月期第1四半期	8,198	—	95	74.3	147	41.6	114	65.2

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	41.79	—
2022年3月期第1四半期	64.87	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期会計期間の期首から適用しております。このため、2022年3月期第1四半期の売上高の対前年同四半期増減率は、記載しておりません。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	15,471	12,954	83.7
2022年3月期	15,256	12,881	84.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 12,954百万円 2022年3月期 12,881百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,550	0.0	290	13.5	390	3.7	280	△28.9	158.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料の7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	1,926,900株	2022年3月期	1,926,900株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	165,784株	2022年3月期	165,784株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	1,761,116株	2022年3月期1Q	1,761,267株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第1四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における当社の営業基盤である東海経済は、新型コロナウイルス感染症に伴う経済活動の停滞から一時的に持ち直しの動きがみられたものの、新たな変異株の流行により先行き不透明な状況が続いております。また、ロシアによるウクライナ侵攻を受けて原材料や輸送コストが上昇すると共に、急激な為替変動や消費者物価の高騰など依然として厳しい状況が続いております。

このような状況の中、売上高は、主力の卸売部門において取扱数量は減少となりましたが、販売単価の上昇や調達力の強化などにより、全体で8,430百万円(前年同四半期比2.8%増)となりました。経常利益は、農林水産省が公募した新型コロナウイルス感染症の影響で販路を失った水産物に対しての助成金制度に参画した結果、96百万円(前年同四半期比34.3%減)となり、四半期純利益は73百万円(前年同四半期比35.6%減)となりました。

今後につきましては、売上面では、自然の影響を受けやすい天然魚の漁獲量減少に対応するため、出荷者との繋がりを深め、養殖魚や他魚種の集荷に取り組みなど、安定供給を図ります。また、持続可能な水産物のサプライチェーンに付与されるマリン・エコラベル・ジャパン(MEEL)の認証を取得しており、資源や環境に配慮したサステナブルな水産物の取扱いにも関わってまいります。利益面では、個々の取引条件の見直しや事業における諸経費の削減に努め、利益率の改善を図ります。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

## (卸売部門)

鮮魚は、国内天然魚の漁獲量減少や海外水産物の調達難、養殖ぶりなどの出荷量減少の影響により取扱数量は減少しましたが、新型コロナウイルスの感染縮小に伴い一時的に量販店や外食産業に活気が戻り、養殖ウナギ、生鮮養殖本マグロなどが堅調に推移し売上増となりました。

塩冷加工品は、国際的な需要増加や漁獲量減少、円安による原料価格の上昇もあり、加工業者向け原材料の供給懸念から引き合いが強く、冷ずわいがに、冷いかなど原料販売の取り扱いが増加となりました。

この結果、売上高は8,271百万円(前年同四半期比6.5%増)、営業利益は56百万円(同34.8%減)となりました。

## (冷蔵倉庫部門)

諸経費の削減を推し進めるなど業績の向上に努めましたが、給食向け冷凍食品の入庫減少や原油価格の高騰に伴う電気料金の高騰が利益を圧迫する結果となり、売上高は104百万円(前年同四半期比17.3%減)、営業利益は26百万円(同24.8%減)となりました。

## (不動産賃貸部門)

主な事業である賃貸マンションが順調に稼働した結果、売上高は54百万円(前年同四半期比7.4%増)、営業利益は38百万円(同7.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、15,471百万円となり、前事業年度末に比べ214百万円(1.4%)増加しました。これは主に、商品287百万円の増加によるものです。

負債は、2,517百万円となり、前事業年度末に比べ141百万円(6.0%)増加しました。これは主に、買掛金271百万円の増加、未払法人税等107百万円の減少によるものです。

純資産は、12,954百万円となり、前事業年度末に比べ73百万円(0.6%)増加しました。これは主に、その他有価証券評価差額金78百万円の増加によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期累計期間は、業績予想の想定内で推移しており、2022年5月13日発表の通期の業績予想は変更していません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,083,575	3,696,291
売掛金	1,810,065	1,932,566
有価証券	400,090	400,040
商品	2,949,786	3,237,654
貯蔵品	7,614	7,416
その他	56,696	239,347
貸倒引当金	△8,091	△9,384
流動資産合計	9,299,735	9,503,931
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	674,389	694,377
土地	1,955,249	1,955,249
その他(純額)	27,056	24,000
有形固定資産合計	2,656,695	2,673,628
無形固定資産	39,240	41,439
投資その他の資産		
投資有価証券	3,142,779	3,142,489
関係会社長期貸付金	45,000	45,000
その他	81,605	83,816
貸倒引当金	△8,063	△18,828
投資その他の資産合計	3,261,321	3,252,476
固定資産合計	5,957,257	5,967,545
資産合計	15,256,993	15,471,477
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,303,864	1,575,754
受託販売未払金	106,084	85,668
未払法人税等	120,768	13,408
賞与引当金	54,000	25,047
役員賞与引当金	10,802	—
その他	209,598	245,732
流動負債合計	1,805,118	1,945,611
固定負債		
退職給付引当金	321,388	306,764
その他	249,312	264,903
固定負債合計	570,700	571,668
負債合計	2,375,819	2,517,279

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,450,000	1,450,000
資本剰余金	1,045,772	1,045,772
利益剰余金	10,425,841	10,420,179
自己株式	△642,244	△642,244
株主資本合計	12,279,368	12,273,706
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	601,805	680,490
評価・換算差額等合計	601,805	680,490
純資産合計	12,881,174	12,954,197
負債純資産合計	15,256,993	15,471,477

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	8,198,577	8,430,398
売上原価	7,728,785	7,996,493
売上総利益	469,792	433,905
販売費及び一般管理費	373,937	399,960
営業利益	95,854	33,944
営業外収益		
受取利息	2,781	2,331
受取配当金	36,733	51,214
その他	11,820	9,232
営業外収益合計	51,335	62,777
営業外費用		
雑損失	0	—
営業外費用合計	0	—
経常利益	147,190	96,722
税引前四半期純利益	147,190	96,722
法人税、住民税及び事業税	36,591	26,303
法人税等調整額	△3,649	△3,169
法人税等合計	32,942	23,134
四半期純利益	114,248	73,588



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項  
 (継続企業の前提に関する注記)  
 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)  
 該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	飼料工場 部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高							
顧客との契約から 生じる収益	7,769,035	252,211	126,414	—	8,147,660	—	8,147,660
その他の収益	—	—	—	50,917	50,917	—	50,917
外部顧客への 売上高	7,769,035	252,211	126,414	50,917	8,198,577	—	8,198,577
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,512	—	30,605	—	33,117	△33,117	—
計	7,771,547	252,211	157,019	50,917	8,231,695	△33,117	8,198,577
セグメント利益	86,497	20,144	35,380	35,415	177,438	△81,583	95,854

(注) 1 セグメント利益の調整額△81,583千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
 該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	卸売部門	冷蔵倉庫 部門	不動産賃貸 部門			
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	8,271,170	104,558	—	8,375,729	—	8,375,729
その他の収益	—	—	54,668	54,668	—	54,668
外部顧客への 売上高	8,271,170	104,558	54,668	8,430,398	—	8,430,398
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	31,031	—	31,031	△31,031	—
計	8,271,170	135,590	54,668	8,461,430	△31,031	8,430,398
セグメント利益	56,399	26,618	38,154	121,172	△87,227	33,944

(注) 1 セグメント利益の調整額△87,227千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期会計期間より、報告セグメントの名称を「冷蔵工場部門」から「冷蔵倉庫部門」に変更しております。セグメント名称変更による各セグメントの業績に与える影響はありません。

なお、前第1四半期会計期間の報告セグメント情報は、変更後の名称により表示しております。

「飼料工場部門」につきましては、2021年9月30日をもって事業を廃止したことに伴い、当第1四半期会計期間より報告セグメントを記載しておりません。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。